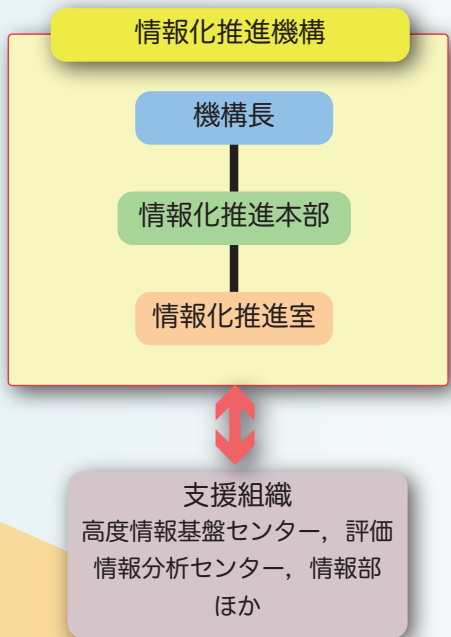
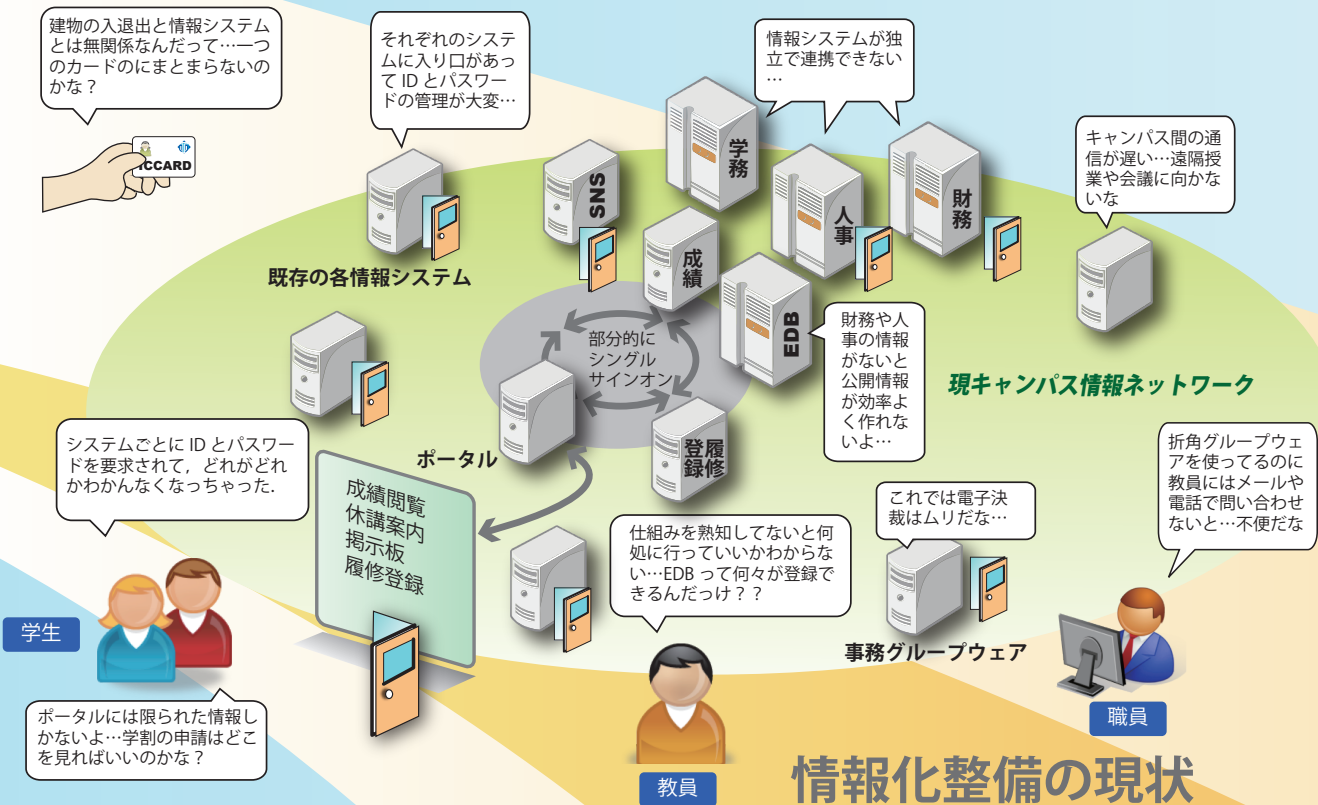


徳島大学情報化推進体制

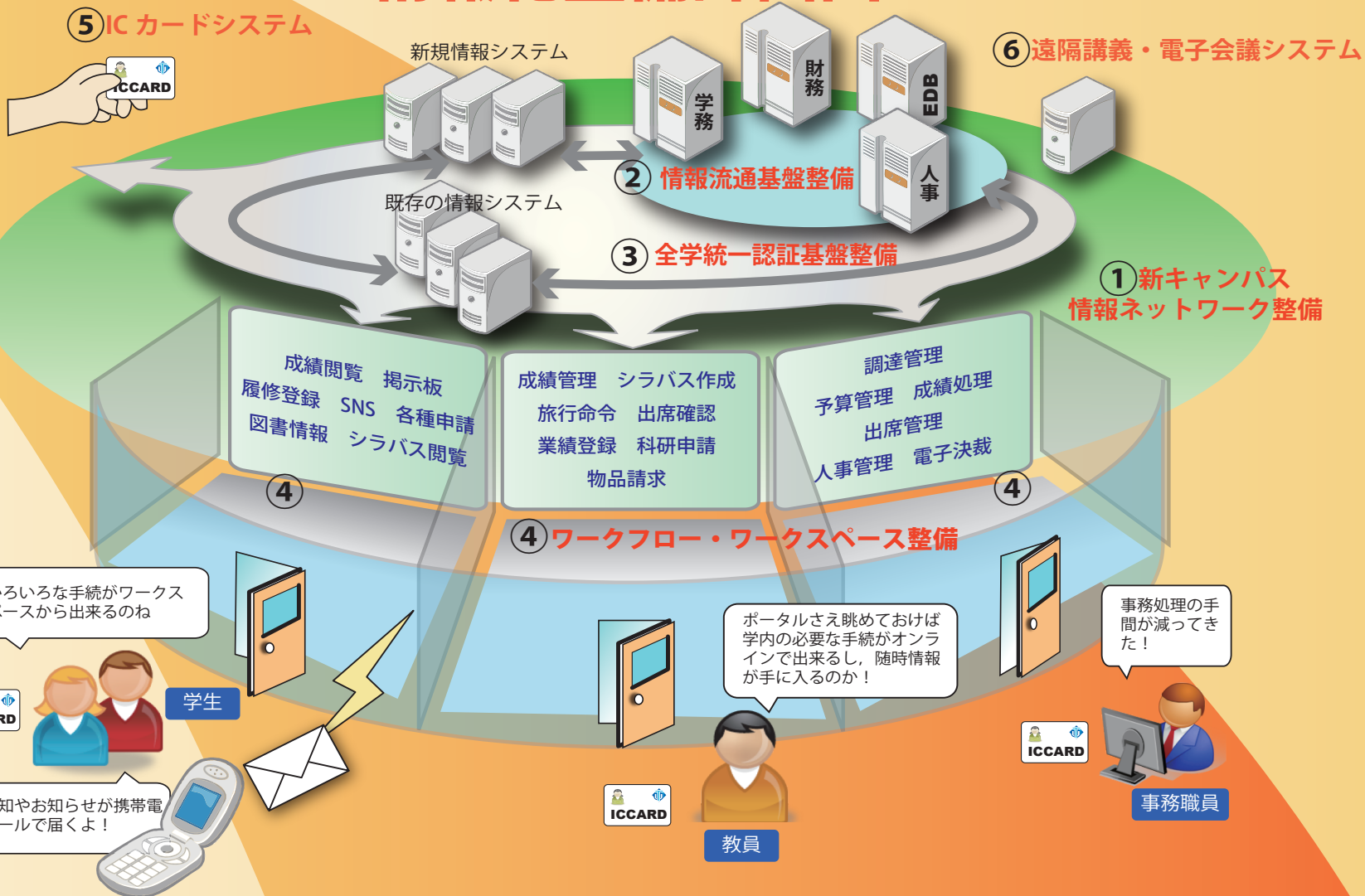


徳島大学の情報化って どうなってるの？ どうなるの？



情報化整備の現状

情報化整備計画図



情報化整備計画

情報化推進機構では、大学における情報化推進の現状や、利用出来る予算等を鑑み、情報化整備計画を策定しました。以下の図は2008年度に策定した情報化整備計画を示しています。まず下部の情報基盤の共有にあたる①～④の基盤整備を重点的に推進し、そののち、上部の情報基盤活用に着手する計画としました。

情報基盤の活用：機能強化と使い手に優しい情報環境の実現

- ⑤ ICカードシステム
- ⑥ 遠隔講義電子会議システム
- ⑦ 基幹事務情報システム
- ⑧ e-Learning e コンテンツ
- ⑨ ソフトウェアライセンス包括契約
- ⑩ メール管理外部委託
- ⑪ 機関リポジトリ

- ④ ワークフロー・ワークスペース整備
- ③ 全学統一認証基盤整備
- ② 情報流通基盤整備
- ① 新キャンパス情報ネットワーク整備

情報基盤の共有：安全かつ柔軟な情報環境の構築・整備・充実

①新キャンパス情報ネットワークシステム整備

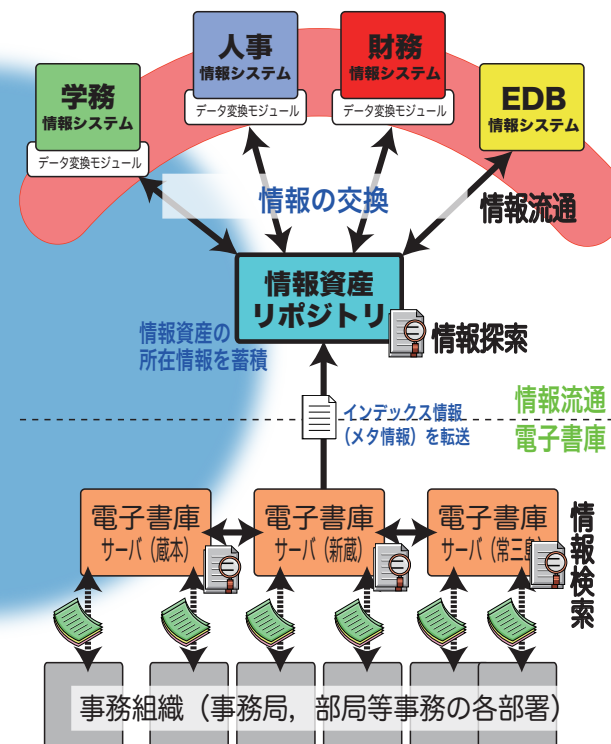
老朽化したネットワーク機器を更新し、大容量、高信頼性、高機能の基幹ネットワークを再構築します。
スイッチや線路の二重化やIPv6への対応、VoIP内線電話の導入を行います。これによってキャンパス間講義、学内高速コンテンツ交換など、多くのアプリケーションの構築に余裕の環境を提供します。H21年度内完成予定。



②情報流通基盤整備

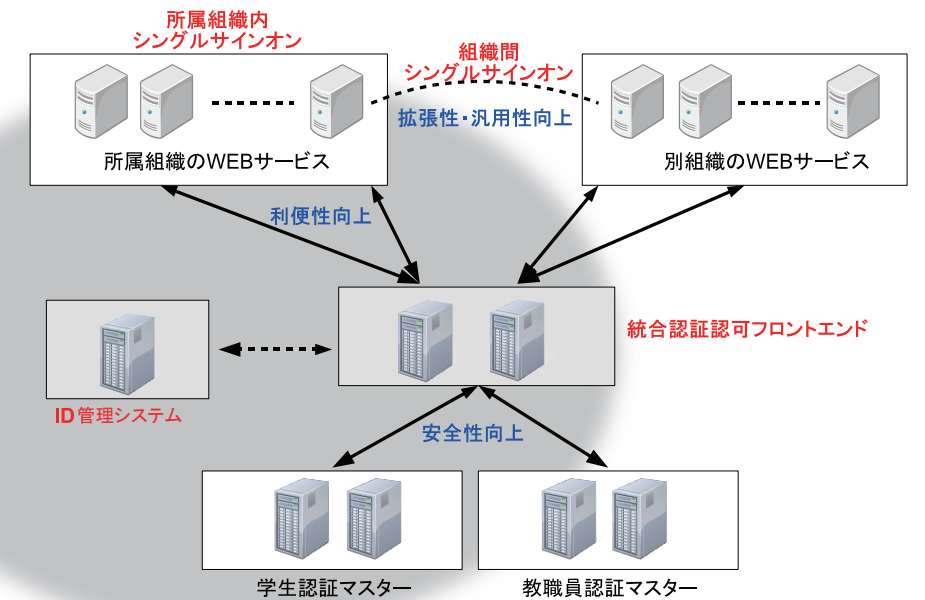
様々な情報システムについて情報を互いに流通・交換させる仕組みを作ります。

大学運営に関する情報を素早く生成できたり、高速な情報検索を実現します。また、情報の電子的蓄積を強力に進めるため、電子書庫を構築します。H21年度内完成予定。



③全学統一認証基盤整備

学内の様々な情報システムにおけるユーザ認証のしくみを統一し、シングルサインオンや認可システムを構築します。ICカードの認証などにも用いられます。H21年度内完成予定。



④ワークフロー・ワークスペース整備

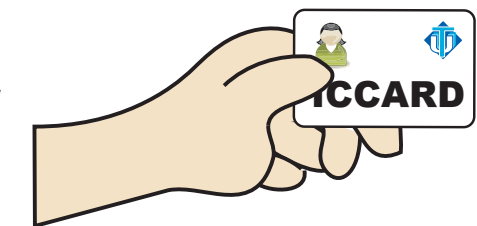
学内の事務や学務に関するやりとりをワークフローとして定義し、スムーズな事務処理や諸手続きが行えるプラットフォーム（ワークスペース）を構築します。

効率のよい事務環境を学生・教職員に提供します。まずは学生用ワークスペースを実現します。H21年度着手、H22年度内完成予定。



⑤ICカードシステム

教職員へのカードの配布、フォーマットの統一、認証基盤との連携、建物・ゲート入退出管理、出席管理、プリペイド機能などの応用を検討中です。



⑥遠隔講義・電子会議システム

キャンパス間講義、学外との電子会議・遠隔講義をサポートします。H21年度に常三島共通講義棟、大学開放実践センターおよび蔵本保健学科においてサービスを開始しています。電子会議の実現方法についても検討中。



H22年度以降に整備予定